中学１年　国語科　教材別テスト⑧

「蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から」　／　漢字・歴史的仮名遣い・古語・古典の読解

１年	組	番	氏名	

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．５）までです。
- 大問四は、**教科書『国語１』（光村図書）の「蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から」を開いて**解答しなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合は、必ず書くこと。　１点×20＝20点

① 貴重な品。
② 宝石がかがやく。
③ 将来の職業を考える。
④ 苦労を重ねる。
⑤ 事実を偽る。
⑥ 難題を出す。
⑦ 貴族のくらし。
⑧ 請求書が届く。
⑨ 客が訪れる。
⑩ 話を聞いて驚く。
⑪ ゆうめいな作品を読む。
⑫ 船でこうかいに出る。
⑬ その話をうたがう。
⑭ 船のざいりょう。
⑮ 旅のじゅんびをする。
⑯ しょうじきに話す。
⑰ 心からあやまる。
⑱ めずらしい花。
⑲ でんせつの島。
⑳ 主君につかえる。

二　次の問いに答えなさい。

2点×9＝18点

■　(1)〜(5)の――線部を、**現代仮名遣い**に直して、すべてひらがなで書きなさい。

(1)　竹取の翁と<u>いふ</u>ものありけり。

(2)　いと<u>をかし</u>と思ふ。

(3)　三寸ばかりなる人、そこに<u>ゐたり</u>。

(4)　人として<u>はぢ</u>を知る。

(5)　いと<u>あはれ</u>なり。

■　(6)〜(9)の問いに答えなさい。

(6)　古語「**いと**」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　少し　　イ　とても　　ウ　やがて　　エ　決して

(7)　古語「**あやし**」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　不思議だ　　イ　うれしい　　ウ　はずかしい　　エ　うらやましい

(8)　古語「**うつくし**」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　おそろしい　　イ　かわいらしい　　ウ　めずらしい　　エ　さびしい

(9)　「ありけり」の「**けり**」が表している意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　打ち消し（〜ない）　　イ　過去（〜た）　　ウ　命令（〜せよ）　　エ　疑問（〜か）

三　古典についての、次の問いに答えなさい。

2点×6＝12点

(1)　『竹取物語』が作られたと考えられている時代を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　奈良時代　　イ　平安時代　　ウ　鎌倉時代　　エ　江戸時代

(2)　『徒然草』のように、作者が見聞きしたことや感じたことを、自由な形式で書いた文章を何というか。**漢字二字**で書きなさい。

(3)　『竹取物語』の作者について、あてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　紫式部　　イ　清少納言　　ウ　作者はわかっていない　　エ　兼好法師

(4)　古文で、「ぞ」「こそ」などの助詞を文中で受けて、文末の言葉の形が変わるきまりを何というか。**四字**（漢字とひらがな）で書きなさい。

(5)　故事成語「**矛盾**」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　前に言ったことと後に言ったことのつじつまが合わないこと。

イ　二つのものの力がつり合って、どちらも動けないこと。

ウ　むだな努力を、何度もくり返すこと。

エ　強い者が、弱い者をおどして従わせること。

(6)　『竹取物語』と**同じ時代**に作られた作品を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　枕草子　　イ　徒然草　　ウ　万葉集　　エ　古事記

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書の「蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から」を読んで、後の問いに答えなさい。　50点

（1）かぐや姫が、求婚してきた人たちに難題を出したのはなぜか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

ア　求婚してきた人たちの身分の高さを、たしかめたかったから。

イ　だれとも結婚する気がなく、無理な難題を出して、求婚をあきらめさせようとしたから。

ウ　めずらしい宝物を集めて、自分のかざりにしたかったから。

エ　翁に、もっとお金持ちになってほしかったから。

（2）くらもちの皇子は、どのような方法で「蓬莱の玉の枝」を用意したか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

ア　船で蓬莱の山まで行き、自分の手で折り取ってきた。

イ　ほかの求婚者から、ゆずり受けた。

ウ　人に命じて、玉の枝そっくりの品を作らせた。

エ　都の市で、高い値段で買い求めた。

（3）皇子が、玉の枝を手に入れたいきさつを長々と、しかも細かく語ったのはなぜか。「～ため。」の形で、**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。 6点

（4）翁は、皇子の語った話をどのように受け取ったか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

ア　話の筋が通らないと感じ、皇子に質問を重ねた。

イ　皇子の話をそのまま信じ、かぐや姫に結婚をすすめた。

ウ　話の意味がまったくわからず、何も言えなかった。

エ　皇子の身分の高さだけを気にして、話は聞かなかった。

（5）皇子の話が事実でないことが明らかになったきっかけは何か。「～こと。」の形で、**二十字以上三十字以内**で書きなさい。 5点

（6）この場面から読み取れる皇子の人物像として、最もあてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

ア　目的のためには手段を選ばない、ずるがしこい人物。

イ　まじめで、一度した約束をかたく守りとおす人物。

ウ　力が強く、荒々しいふるまいを好む人物。

エ　引っこみ思案で、人の前では話すことができない人物。

四　（つづき）

（7）皇子が玉の枝を見せたときと、皇子の話が事実でないとわかったときとで、かぐや姫の心情はどのように変化したか。**三十字以上四十字以内**で書きなさい。［6点］

（8）当時の人々が「蓬莱」に対して抱いていたイメージとして、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　行けばすぐに帰ってこられる、身近で便利な場所。

イ　ふつうの人が行くことのできない、ありがたい宝のある場所。

ウ　争いが絶えず、だれもが行きたがらない恐ろしい場所。

エ　作物がよく育ち、米や麦がたくさんとれる豊かな土地。

（9）この話の**物語としてのおもしろさ（工夫）**はどこにあるか。**三十字以上四十字以内**で書きなさい。［6点］

(10)『竹取物語』の冒頭「**今は昔**、竹取の翁といふものありけり。」の「今は昔」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　今も昔も、まったく変わらないが。　　イ　今からみれば昔のことだが。

ウ　今よりも昔のほうがよかったが。　　エ　昔のことは、今ではわからないが。

(11) この場面の内容にあてはまるものを**全て**選び、記号で答えなさい。【完答】［4点］

ア　皇子は、蓬莱へ行くふりをして、しばらく姿をかくしていた。

イ　皇子は、玉の枝を持ち帰ったあと、すぐにかぐや姫と結婚した。

ウ　皇子は、身分の高い人物として登場する。

エ　かぐや姫は、皇子の話を聞いて、すっかり皇子を気に入った。

オ　皇子は、玉の枝を手に入れたと言って、かぐや姫のもとへ持ってきた。

解答用紙①　知識・技能

中学１年　国語科　教材別テスト⑧「蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から」

１年	組	番	氏名	

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	

一（つづき）	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

解答用紙①（つづき）　知識・技能

中学１年　国語科　教材別テスト⑧「蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から」

１年	組	番	氏名	

二　歴史的仮名遣い・古語（２点×９）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	
	(9)			

三　古典の基礎知識（２点×６）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	

解答用紙②　思考・判断・表現

中学１年　国語科　教材別テスト⑧「蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から」

１年	組	番	氏名	

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四 「蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から」（50点）	(1)		(2)	
	(3)			
	(4)			
	(5)			
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)			
	(10)			
	(11)			

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（３）は25～35字、（５）は20～30字、（７）（９）は30～40字です。